

2018 年度 総合国際学研究所		日英区分 :日本語	
日本社会研究 1			
■ ■ 履修コード	■ ■ 科目分野		
530621			
■ ■ 担当教員 (ローマ字表記)			
シートン [SEATON Philip]			
■ ■ 授業形態	■ ■ 単位数	■ ■ 学期	■ ■ 曜日・時限
定時授業	2	春学期	火2

■ ■ 講義題目 (和文)

コンテンツツーリズム：ポップカルチャーが誘導する旅

■ ■ 講義題目 (英文)

Contents tourism: Travel induced by popular culture

■ ■ 講義・演習の別

演習

■ ■ 授業の目標

最近話題になっている「聖地巡礼」（ファンが作品のゆかりの地を訪れるという行動）という現象について、国内外の研究資料を読んだり議論したりしながら、考察します。また、フィールドワークを通じて、聖地巡礼という行動の本質を実感してみましょう。

■ ■ 授業の概要

コースは七つのブロック（二週間毎）に分けられています。毎週、文献に関する学生発表と議論を行います。アクティブラーニングのブロックが二つあり（シンポジウムに参加すること、聖地を訪れること）、実際にコンテンツツーリズムの現場を体験します。

■ ■ キーワード

コンテンツツーリズム、聖地巡礼、観光、ポップカルチャー

■ ■ 授業の計画

内容

イントロダクション

「物語を旅するひとびとーコンテンツ・ツーリズムとは何か」（増淵 敏之）について

「物語を旅するひとびとーコンテンツ・ツーリズムとは何か」（増淵 敏之）について

「Film-Induced Tourism」（Sue Beeton）について

「Film-Induced Tourism」（Sue Beeton）について

「コンテンツツーリズム研究」（岡本 健）について

「コンテンツツーリズム研究」（岡本 健）について

アクティブラーニング 1：コンテンツツーリズム研究会に参加すること

アクティブラーニング 1：コンテンツツーリズム研究会に参加すること

アクティブラーニング 2：聖地の現地調査（フィールドワーク）

アクティブラーニング 2：聖地の現地調査（フィールドワーク）

「コンテンツツーリズム入門」（コンテンツツーリズム学会）について

「コンテンツツーリズム入門」（コンテンツツーリズム学会）について

「Contents Tourism in Japan」（Philip Seaton et al）について

「Contents Tourism in Japan」（Philip Seaton et al）について

■ ■ 成績評価の方法・基準

授業中の参加（25%）、アクティブラーニング 1 の報告書（25%）、アクティブラーニング 2 の報告書（25%）、書評（25%）

■ ■ 事前・事後学習

予習：指定された文献を読んで、発表を用意すること。

宿題：レポートと書評を書くこと。

■ 授業上の注意

このゼミは基本的に日本語で行いますが、英語で文献を読むことを求められます。さらに、英語で行われる国際シンポジウムに参加することがコースの重要なポイントとなるため、上級の英語理解力が求められます。

■ 教科書

■ 参考書

参考書1	ISBN	978-1604979732				
	書名	Contents tourism in Japan : pilgrimages to "sacred sites" of popular culture				
	著者名	Philip Seaton ... [et al.]	出版社	Cambria Press	出版年	2017
	備考					
参考書2	ISBN	978-4779115080				
	書名	コンテンツ・ツーリズムとは何か				
	著者名	増淵敏之著	出版社	彩流社	出版年	2010
	備考					
参考書3	ISBN	978-4571410550				
	書名	コンテンツツーリズム研究：情報社会の観光行動と地域振興				
	著者名	岡本健編著	出版社	福村出版	出版年	2015
	備考					
参考書4	ISBN	978-4772231633				
	書名	コンテンツツーリズム入門				
	著者名	増淵敏之 [ほか] 著	出版社	古今書院	出版年	2014
	備考					
参考書5	ISBN	978-1845415839				
	書名	Film-induced tourism				
	著者名	Sue Beeton	出版社	Channel View Publications	出版年	2016
	備考					

■ 教科書・参考書に関する補足情報

ホームページ：www.philipseaton.net

■ 使用言語

日本語(J)